

## 【開催報告】柚木理子さん講演会 自分に「いいね！」とられない生き方をめざして

平成29年10月21日（土曜日）午後13時30分から、あびこ市民プラザで、あびこ女性会議との共催講演会を開催しました（参加者50人）。

講師は川村学園女子大学の元教授<sup>ゆき まさこ</sup>柚木理子さん。今回は、ロールモデルなき現代社会を生き抜く術をグローバルにジェンダーの視点から探っていきます。



### 生き方・働き方を自由に選べる時代



家族の形も様々になり、働き方も変化し、私たちは今、人生において多様な選択肢を手に入れたと言われています。そういった社会の変化を、わかりやすい調査データを使って解説していくことから、柚木さんの話は始まりました。

私たちを取り巻く環境は、1970年代、いわゆる高度経済成長期と比べて大きく変わりました。少子高齢化や人口減少が進み、平均寿命が延び、初婚年齢が上がりました。生涯未婚が男女共に増加。当時当たり前だった専業主婦のいる世帯が激減し、共働き世帯との比率が逆転しました。

それに伴い、人々の意識や価値観にも変化が表れました。例えば「結婚するのは当たり前」から「必ずしも結婚する必要がない」へ。結婚も人生の選択肢の一つ、するもしないも個人の自由との考えが多くなりました。

また、女性は「子どもができれば仕事をやめるべき」という意見がかつては多数派でしたが、今は「子どもができて働き続けた方がよい」が最多です。この結果には男女差がほとんどなく、つまり男性も、女性が働き続けることを良いと考えているわけです。これらを見ていくと、男だから女だからと生き方を押し付けられなくなった時代になったように思われます。



## 変わったこと、変わらないこと



生き方や働き方は、様々な選択肢から自分で選べる時代のはず。しかし相変わらず男性は、長時間労働に縛られ、家事育児時間は先進各国の中でも極めて少ないという状況。また「男は仕事、女は家庭」という考え方について、今でも賛成・反対がほぼ拮抗したままで反対が増えてこないのも、世界各国と比べてみると日本独特の傾向だとわかります。

女性が家事育児をこなした上で男性同様に働くのでは、あまりに大変すぎます。では女性だけが不幸かということも違うようです。「今、幸せか」との問いに Yes と答える割合は、男性より女性の方が高くなっているそうです。「嫌だと言えないでがまんしがち」な男性像は、近年の男性の自殺率の高さからもうかがえます。男性も男らしさに囚われて苦しんでいます。



## 自分らしさを見失わずに



後半は、参加者が4人程度の小グループでのワークを行いました。まず、生きづらいつ感じていること、とらわれていることを自ら振り返り、シートに書いていきます。それをグループ内で話し合い、さらには全体での発表を行いました。参加者は「情報に振り回されてしまう自分」「女性なのに編み物とか刺繍とか、女らしい趣味に興味がない自分」「働いて家族を養うことに囚われている自分」などを他の人に話してみることで、自分自身を見つめなおしました。

世の中の変化についていくのがやっとだけど「そこそこ」ついていながら、自分らしさを失わず、人にも認めてもらいたい。誰もが「いいね！」をほしいと願っています。柚木さんは「まずはありのままの自分を認め、自分に『いいね！』が言えるようになりましょう。そして次は周りの人に、特に自分より若い世代に力を貸してあげてください」と講演を締めくくりました。

世の中の変化についていくのがやっとだけど「そこそこ」ついていながら、自分らしさを失わず、人にも認めてもらいたい。誰もが「いいね！」をほしいと願っています。柚木さんは「まずはありのままの自分を認め、自分に『いいね！』が言えるようになりましょう。そして次は周りの人に、特に自分より若い世代に力を貸してあげてください」と講演を締めくくりました。



講師プロフィール：柚木理子（ゆき まさこ）さん

---



元川村学園女子大学生生活創造学部教授。博士（学術）Ph.D. in Social Studies（お茶の水女子大学）。専門はドイツと日本のジェンダー社会・労働論。（公）日本女性学習財団認定キャリア形成支援士。我孫子市男女共同参画審議会委員。

日本並びにドイツ系企業での勤務経験を活かし、現在は非常勤講師として川村学園女子大学、立教大学、中央大学、白百合女子大学で、ジェンダー論、家族社会学、ワーク・ライフ論などを担当。自分の進む道に思い悩む男女の大学生に、したたかで粘り強いキャリア形成へのメッセージを送り続けている。

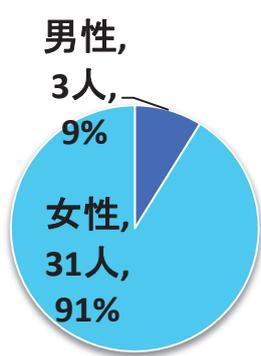
参考

---

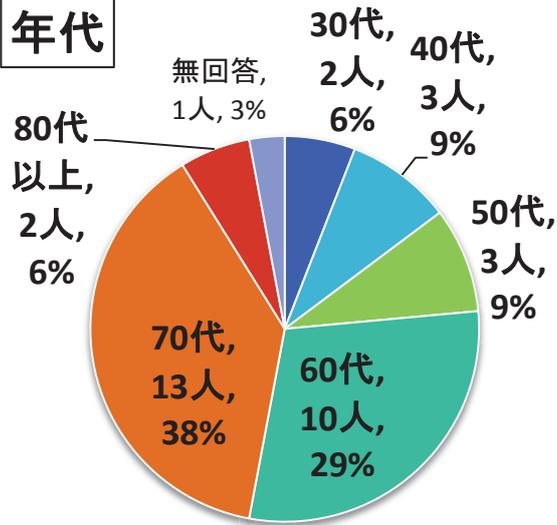
- 当日参加者アンケート集計結果
- 「広報あびこ」平成29年6月16日号1面、男女共同参画特集
- ポスター
- チラシ

平成29年10月21日共催講演会 参加者アンケート(集計)  
参加者50人、有効回答数34人、回収率68%

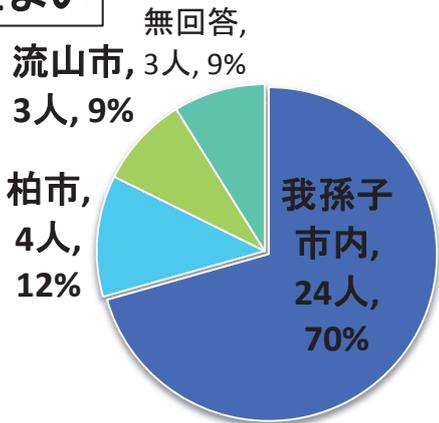
性別



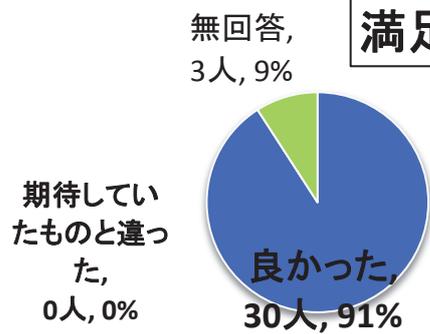
年代



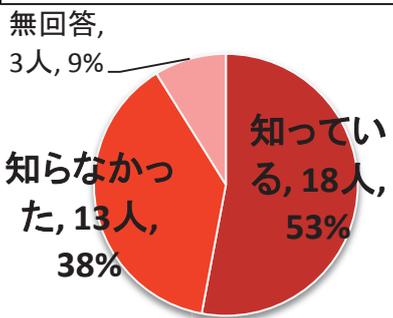
お住まい



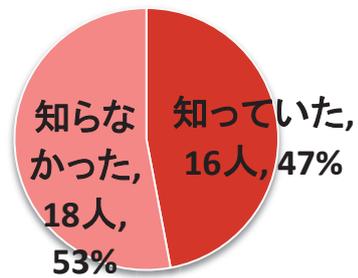
満足度



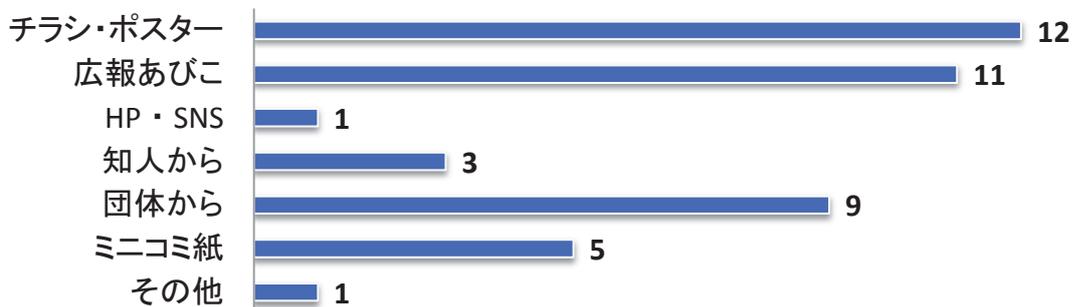
宣言都市であることを...



情報紙かがやくを...



講演会を知った媒体(複数回答)



## 自由記入欄回答

### ◆講演で印象に残ったこと、感想など

- ・参加者の皆さんの意識の高いことに驚きました。また、世代がちがう方との交流やご意見が聞けたことは、とても有意義でした。どうもありがとうございました。（女・40代）
- ・先生のお話、とても聞きやすく1時間あっという間でした。また機会あれば伺いたいです！！（女・40代）
- ・自分にいいね！（男・50代）
- ・今の社会の問題がよく見えてきた気がする。まず自分～心があたたかくなった気分です。（女・50代）
- ・ワークショップの時間が短かった。（女）
- ・初めて参加し、グループで声を出して、テーマを話すことが新鮮に思った（女・60代）
- ・グループごとに話し合えたこと良かったです。久々に学生気分をありがとうございました。（女・60代）
- ・忘れていた自分の良いところ考えてみます。（女・60代）
- ・自分で自分を褒めてあげよう、すごく大切だと思いました。誰に褒めてもらわなくてもいい、自分をもっともっと褒めてあげたいと思いました。ありがとうございました。（女・60代）
- ・自分が自分を認めること（喜ぶこと）が基本だと思います。（女・60代）
- ・グループワークがあると思いませんでしたが、おもしろかったです。（女・60代）
- ・先生の専門的なお話がきけて、大変勉強になりました。ありがとうございました。（女・60代）
- ・まずは自分を大切に。（女・60代）
- ・自分に「いいね」 この言葉を再度確認した。（女・70代）
- ・ジェンダーとは（女・70代）
- ・誉めること（女・70代）
- ・自分に いいね！！（女・70代）
- ・自分を誉める（女・70代）
- ・ジェンダー（女・70代）
- ・話しの内容が飽きる事なく聞いた。（女・70代）
- ・具体的な内容で良かった。先生のご研究の成果を伺えた。（女・80代）

### ◆そのほか、日頃考えていることなど。

- ・会場が少し寒かったです。ワークショップの場合、事前のお知らせ（広報かホームページなどで明記するなど）があるといいです。（女・30代）
- ・若い世代（～20代）をどうやって支えていくか。自分に「イイネ！」ができるように育てること。（女・40代）
- ・老若男女、生きやすい社会、長生きをしたいと思う社会になるといいなと思います。（女・40代）
- ・実は私「女性らしい趣味」にあまり興味がなく、周囲に疎外感を持っていました。（女・60代）
- ・色々のお話をきけて良かった。（女・70代）
- ・いいねをいっぱい言いたいです。ありがとうございました。（女・70代）

# 広報

# あびこ 6月16日



平成29年(2017年) No.1431

我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室

〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-1520

## 主な内容

- 平成28年度 情報公開の実施状況 ……2面
- 我孫子駅発着の臨時特急「踊り子号」 ……2面
- 日本女子オープンゴルフ選手権入場券販売、「檸檬のバーム」農林水産大臣賞を受賞! ……3面
- 熱中症を予防しましょう ……4面
- 夏休みの環境学習 ……5面

6月是我孫子市男女共同参画月間です。

GENDER EQUALITY 2017. June



## ～誰もがチャレンジできる社会に～ 私たちも、活躍します!

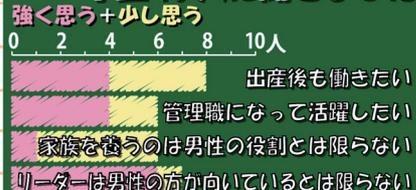
国は女性活躍推進法のもと、女性がさまざまな分野でチャレンジし、活躍できる環境整備を進めています。そうした中、これから就職する世代はどのように考えているのでしょうか。川村学園女子大学で女性を取り巻く社会環境について学ぶ1～4年生10人に、それぞれの思いを聞きました。



### 学生10人に聞きました ～就職について～

- 私たちもずっと、働き続けたい!
- 大学で得た資格を仕事で生かしたい。
- 生活の基盤を築き、安定した生活を送りたい。
- 家族を支えられる人になりたい。
- 家事だけではなく仕事もできる人になりたい。
- キャリアアップできる仕事を選び、活躍したい!
- でも、不安なこともあります。
- 女性だけが仕事と家庭の両立を強いられる気がする。
- 女性は、賃金が安い割に大変な仕事を担っている?

### 学生10人に聞きました



### 国の独身女性に対する調査でも…

- ①結婚後も働きたい⇒44.6%、
- ②うち出産後も働き続けたい⇒65.1%
- 10年前は… 結婚後も出産後も働きたい人の割合が増えています。
- ①⇒41.8%
- ②⇒51.3%

厚生労働省：21世紀成年者縦断調査 (平成27年11月実施) から

### 山形香生莉さん(観光文化科4年)

私は、ブライダル産業で働きたいと考えています。結婚式の華やかな印象が強いと思いますが、多様な人々の生き方をサポートできる職業です。就職後もさまざまな分野を経験し、将来は後輩の女性たちを支援する部門へとキャリアアップしたいです。



### キャリアプランを組み込んだ将来設計を

#### 柚木理子さん(川村学園女子大学元教授)

男女で職域が分離していることが、男女間の賃金格差の一つの原因となり、今なお女性は十分に活躍できているとは言えない現状です。他方で仕事中心の男性の生き方も見直しが迫られています。今後は女性も男性も、性別にとらわれずに活躍しやすい社会づくりへの取り組みが、なお一層必要になってくるでしょう。学生のみならずはこれをチャンスと捉えてください。キャリアプランについてもしっかりと踏み込んで考えた将来設計ができることを期待しています。



柚木理子さん…我孫子市男女共同参画審議会委員。現在は同大学非常勤講師としてドイツ語とジェンダー研究入門を教える。



## 6月議会会期日程変更のお知らせ

広報あびこ6月1日号に掲載した6月議会会期日程に変更がありました。6月21日(水)開催予定の予算審査特別委員会は、提出された議案の関係上、開催せずに、常任委員会で審査することとなりました。それに伴い、6月22日(木)開催予定の本会議(採決など、閉会)を6月21日(水)開催に変更します。 議会事務局・内線242





ファクス 04-7183-2789 あびこ女性会議 濱田  
 または 04-7185-1520 我孫子市役所男女共同参画室

10月21日(土) 13:30開演  
 自分に「いいね！」  
 とらわれない生き方をめざして  
**参加申込書**

講師 <sup>ゆき まさこ</sup> 柚木理子さんプロフィール

元川村学園女子大学生生活創造学部教授。  
 博士(学術)Ph.D. in Social Studies(お茶の水女子大学)。  
 専門はドイツと日本のジェンダー社会・労働論。  
 日本女性学習財団認定キャリア形成支援士。我孫子市男女  
 共同参画審議会委員。日本並びにドイツ系企業での勤  
 務経験を活かし、現在は複数の大学で非常勤講師として  
 ジェンダー論、家族社会学などを教える。

ふりがな お名前 (連名可)	
連絡先	事前連絡が必要になった場合にのみ使用します。代表者の方の電話番号かメールアドレスのうち、いずれか一つご記入ください。
託児申込 10/10(火) 締切	2歳から就学前までのお子さんを無料でお預かりします。 お子さんそれぞれの年齢(○才○か月まで)と性別をご記入ください。 当日、おもちゃ、食べ物、飲み物等には必ずお名前を付けてご持参ください。  ・ 歳 月 (女・男) ・ 歳 月 (女・男) <p style="text-align: right;">以上 名</p>

■ パソコンの方はホームページから **我孫子市男女共同参画講演会** **検索** 

<https://www.city.abiko.chiba.jp/shisei/kyoudousankaku/kouenkai.html>



スマートフォン  
←

従来型携帯電話  
→



■ 電話でも受け付けます。  
 あびこ女性会議(濱田) TEL: 04-7183-2789  
 我孫子市男女共同参画室 TEL: 04-7185-1752

■ ご記入いただいた個人情報は我孫子市個人情報保護条例に基づき適正に管理し、講演会運営上の連絡以外には使用しません。

■ 受付票等の返信はありません。定員に達し参加いただけない場合のみ連絡します。

